



サクラマス幼魚の放流を実施

～サクラマスも増える河川環境を再生し、川本来の姿を取り戻す。～

サクラマスが自然に神通川に回帰できることを期待し、平成22年度に造成した人工水路（越冬場所）でサクラマス幼魚（約3千匹）の放流を下記のとおり実施します。

また、サクラマスの放流を実施した後には、生息環境の調査なども行う予定です。

富山河川国道事務所では、神通川の自然再生事業に取り組んでいます。自然再生に有効であると思われる『指標』を「サクラマスが棲めるような生息環境の再生」に設定し、淵（越夏場所）や人工水路（越冬場所）を造成・整備しています。

※サクラマス幼魚 → 生後1年経過した体長10cm前後のもの

※サクラマス → 富山県が編集・発行している『レッドデータブックとやま』で“準絶滅危惧”に選定されている

- 日 時 : 平成25年12月19日（木）10:30～（予定）
- 実施場所 : 富山市岩木新地先（神通川右岸大沢野大橋上流）
※詳細については、別紙【位置図】をご覧ください。
- 参加者 : 富山漁業協同組合
富山県農林水産総合技術センター水産研究所
国土交通省富山河川国道事務所

お問い合わせ先

- 富山県農林水産総合技術センター水産研究所
□内水面課長 田子 泰彦 ☎076-475-0036（代表）
- 富山河川国道事務所（パレットとやま）
□副所長（河川担当） 二俣 秀 ☎076-443-4701（代表）
□河川環境課長 江戸 均 ☎076-443-4719（直通）



(別紙)

【位置図】

